

平成 31 年 1 月 25 日

各 位

上場会社名	株式会社ドリコム	
代表者	代表取締役社長	内藤 裕紀
(コード番号)	3793)	
問合せ先責任者	取締役	後藤 英紀
(TEL)	03 - 6682 - 5700)	

特別損失および持分法による投資損失の計上 ならびに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 31 年 3 月期第 3 四半期において、特別損失および持分法による投資損失を計上する見込みとなりました。平成 30 年 10 月 31 日に公表いたしました平成 31 年 3 月期第 3 四半期の連結業績予想の修正とあわせて、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上およびその内容

当社は、運用中のゲームアプリの将来収益の再評価を行い、複数のゲームアプリに関連する資産を減損処理、合計約 260 百万円を平成 31 年 3 月期第 3 四半期において特別損失を計上いたします。既存ゲーム事業は収益の向上が続いており、引き続き売上と利益双方の拡大に取り組んでまいります。

2. 営業外費用（持分法による投資損失）の計上およびその内容

当社は、持分法適用関連会社である株式会社 BXD（以下、BXD 社という）が開発・運営を手掛ける enza 事業の拡大に、BXD 社とともに注力しております。平成 31 年 3 月期第 3 四半期において連結会計上の資産を再評価し、持分法による投資損失約 324 百万円（第 3 四半期累計期間では、約 550 百万円）を営業外費用として計上いたします。

平成 30 年 4 月のリリース以降、enza 事業は着実に拡大を続けております。今後は新規タイトルのリリースやリアルとの連動など独自性のあるプロモーションの積極的な展開を予定しており、両社の有する技術やプロモーションノウハウを結集し、モバイルゲーム市場を牽引するプラットフォームサービスを目指します。

3. 業績予想の修正について

(1) 平成 31 年 3 月期第 3 四半期連結業績予想数値の修正（平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,000	△800	△1,100	△1,000	△35.31
今回修正予想 (B)	8,000	△700	△1,300	△1,400	△49.45
増減額 (B-A)	0	100	△200	△400	
増減率 (%)	0.00	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成30年3月期第3四半期)	10,083	341	193	75	2.67

(2) 修正の理由

第 3 四半期会計期間（平成 30 年 10 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日）におきましては、「1. 特別損失の計上およびその内容」およ

び「2. 営業外費用（持分法による投資損失）の計上およびその内容」に記載のとおり、特別損失および持分法による投資損失を計上することとなりました。これを受け、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益が前回予想を下回る見通しとなりました。なお、売上高につきましては、概ね前回予想どおり、営業利益につきましては既存ゲーム事業の収益の向上が続いていることから、前回予想比で赤字幅が縮小する見込みです。

以上